

イチゴ新品種素材の育成

農業試験場 主査研究員 田中 郁

【要約】

炭そ病に耐病性のある良食味、多収の品種を育成するため、平成28～29年に6品種・系統を交配し、令和2年度に優良系統3系統（「IC5」、「MI2」、「JI6」）を選抜した。

【背景・ねらい】

農業試験場ではこれまでに‘まりひめ’と‘紀の香’を育成してきた。しかし、‘まりひめ’は炭そ病の感染リスクが高い、‘紀の香’は炭そ病に強いものの果皮が弱く輸送性に劣ることから、現場からは新たな優良品種育成が望まれている。

そこで、炭そ病に耐病性のある良食味、多収で市場性の高い優良系統を育成する。

【成果の内容・特徴】

- 1) 「IC5」は‘紀の香’に‘かおり野’を交配した系統で、‘紀の香’並みの極早生で、糖度は高い（表1、図1）。果実は、橙赤色で果皮は軟らかい（図2）。
- 2) 「MI2」は‘まりひめ’に‘紀の香’を交配した系統で、‘まりひめ’よりやや早生、多収であり（表1）、果実が大きく、果形は‘まりひめ’に似ている（図2）。
- 3) 「JI6」はJ77（‘かおり野’×‘さちのか’）に‘紀の香’を交配した系統で、早生で果肉が硬く、糖度が安定している（表1、図1）。
- 4) 炭そ病耐病性は、3系統とも‘さちのか’と同等以上である（データ省略）。
- 5) 那賀、海草、有田、日高、西牟婁の各地域の5農家で現地実証圃場を設置している。

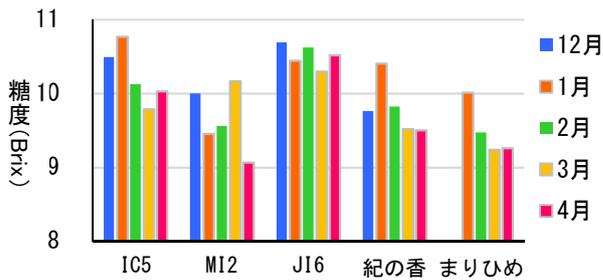


図1 12月～4月における選抜系統の平均糖度(R2) 図2 3系統と‘まりひめ’の果実

表1 選抜3系統の収穫開始日と果実収量(R2)

	収穫開始日	収穫重量(g/株)						計	平均果重(g/果)
		11月	12月	1月	2月	3月	4月		
IC5	12月6日	2.6	84.6	81.6	127.3	72.3	143.0	511.4	18.2
MI2	1月5日	— ^x	25.6	127.9	151.9	88.8	202.3	596.6	23.8
JI6	12月18日	1.1	76.8	120.1	103.5	91.1	149.4	542.0	18.5
紀の香	12月7日	7.0	62.5	61.6	71.2	145.6	171.9	519.8	20.2
まりひめ	1月17日	—	—	88.5	159.1	85.3	161.8	494.7	17.6

※n=12

^x収穫がなかったことを示す